

**ICHIGOICIE CONSULTING, Inc.**



フィリピン人介護職員の本音と  
人材定着のための3つの取り組み

# 目次

## □フィリピン人介護職員の時代背景

- 経済
- 人口
- インターネット普及率

## □フィリピン人介護職員の本音

## □雇用主が知っておくべきポイント

## □人材定着のための3つの取り組み

# フィリピン人介護職員の時代背景(経済)

□ 過去4年間のフィリピンの実質GDP成長率はフィリピン統計局によると下記になります。

2016年 6.9%  
 2017年 6.7%  
 2018年 6.2%  
 2019年 5.9%

表 フィリピンの需要項目別、産業別 実質GDP成長率 (単位: %、100万ペソ)

項目	成長率				金額		シェア	寄与度
	2016年	2017年	2018年	2019年	2018年	2019年	2019年	2019年
実質GDP成長率	6.9	6.7	6.2	5.9	9,206,889	9,750,598	100.0	5.91
1. 民間最終消費支出	7.1	5.9	5.6	5.8	6,306,635	6,670,295	68.5	3.95
2. 政府最終消費支出	9.0	7.0	13.0	10.5	1,025,691	1,133,103	11.1	1.17
3. 国内総固定資本形成	24.5	9.4	13.2	△ 0.6	2,835,865	2,817,452	30.8	△ 0.20
A. 固定資本	26.1	9.5	12.9	1.5	2,804,813	2,847,159	30.5	0.46
A. (1) 建設	13.1	5.9	13.6	9.4	953,219	1,043,288	10.4	0.98
A. (1) 1. 建設(公共)	25.7	12.7	19.7	△ 2.4	254,991	248,967	2.8	△ 0.07
A. (1) 2. 建設(民間)	9.6	3.7	11.5	13.8	698,228	794,321	7.6	1.04
A. (2) 耐久機材	37.7	10.7	12.4	△ 5.2	1,609,080	1,524,857	17.5	△ 0.91
4. 財貨・サービスの輸出	11.6	19.5	13.4	3.2	5,599,149	5,777,792	60.8	1.94
財貨	10.7	20.9	14.6	2.7	4,502,207	4,625,775	48.9	1.34
サービス	15.3	14.5	8.9	5.0	1,096,942	1,152,017	11.9	0.60
5. 財貨・サービスの輸入 (-)	20.2	18.1	16.0	2.1	6,560,451	6,695,455	71.3	1.47
財貨	23.7	19.6	17.4	1.9	5,436,820	5,537,980	59.1	1.10
サービス	7.2	11.8	9.6	3.0	1,123,631	1,157,475	12.2	0.37

(出所) フィリピン統計局(PSA)

□ 1%台を推移している日本と比べ、非常に高い成長率を維持しています。

# フィリピン人介護職員の時代背景(経済)

- アセアン諸国の実質GDPの平均値よりも高い数値で推移しており、経済の好調さがうかがえます。

表：ASEAN各国の実質GDP成長率の推移 (単位：%) (△はマイナス値、－は値なし)

国・地域	2017年	2018年	2018年				2019年		
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
インドネシア	5.1	5.2	5.1	5.3	5.2	5.2	5.1	5.1	5.0
マレーシア	5.7	4.7	5.3	4.5	4.4	4.7	4.5	4.9	4.4
フィリピン	6.7	6.2	6.5	6.2	6.0	6.3	5.6	5.5	6.2
タイ	4.0	4.1	5.0	4.7	3.2	3.6	2.8	2.3	2.4
シンガポール	3.7	3.1	4.6	4.2	2.6	1.3	1.1	0.2	0.5
ベトナム	6.8	7.1	7.5	6.7	6.8	7.3	6.8	6.7	7.3
ASEAN	5.0	4.7	—	—	—	—	—	—	—

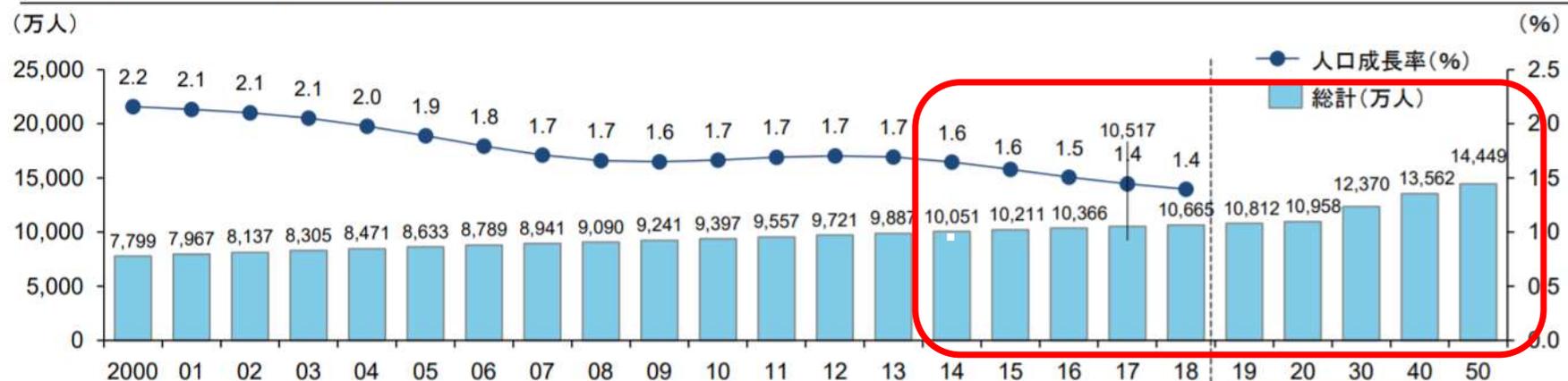
出所：各国統計、アジア開発銀行（ADB）"Asian Development Outlook"からジェトロ作成

# フィリピン人介護職員の時代背景(人口)

- フィリピンの人口動態、人口成長率を見てみると、  
2014年には人口1億人を突破し、さらに増え続けています。
- JETRO（日本貿易振興機構）によると、  
フィリピンは2062年まで人口ボーナス期が継続します。

人口動態、および人口成長率

出典：経済産業省2020年



# 人口ボーナス期とは

- 労働力増加率が人口増加率よりも高くなり、人口に対する労働力が豊富な状態となることで、経済成長が促進される時期を指します。
- 日本は1960年代の高度成長期に人口ボーナス期を迎え、2005年に人口ボーナス期が終了しています。その他の東南アジア諸国では、タイは2031年、ベトナムは2041年、インドネシアは2044年まで続きます。



2005年



タイ  
2031年



ベトナム  
2041年



インドネシア  
2044年



フィリピン  
20062年

# フィリピン人介護職員の時代背景 (インターネット)

- 2020年のInternet World Stats データによると、フィリピンのインターネット普及率は72.1%です。
- 日本での就労を目指す20～30代のフィリピン人のほとんどは、スマートフォンを所持しています。

ASIA INTERNET USE, POPULATION STATISTICS DATA AND FACEBOOK DATA - JUNE 30, 2020						
ASIA	Population (2020 Est.)	Internet Users, (Year 2000)	Internet Users 31-MAY-2020	Penetration % Population	Users % Asia	Facebook 31-MAR- 2020
India	1,380,004,385	5,000,000	560,000,000	40.6 %	24.3 %	251,000,000
Indonesia	273,523,615	2,000,000	171,260,000	62.6 %	7.4 %	136,960,000
Japan	126,476,461	47,080,000	118,626,672	93.8 %	5.2 %	28,000,000
Mongolia	3,278,290	30,000	2,233,000	68.1 %	0.1 %	2,233,000
Myanmar	54,409,800	1,000	22,200,000	40.8 %	1.0 %	22,200,000
Nepal	29,136,808	50,000	16,190,000	55.6 %	0.7 %	10,419,000
Pakistan	220,892,340	133,900	71,608,065	32.4 %	3.1 %	37,070,000
Philippines	109,581,078	2,000,000	79,000,000	72.1 %	3.4 %	71,760,000
Singapore	5,850,342	1,200,000	5,173,907	88.4 %	0.2 %	4,470,000
Vietnam	97,338,579	200,000	68,541,344	70.4 %	3.0 %	66,720,000
<b>TOTAL ASIA</b>	<b>4,294,516,659</b>	<b>114,304,000</b>	<b>2,305,458,859</b>	<b>53.7 %</b>	<b>100.0 %</b>	<b>832,336,400</b>

出典: Internet World Stats 2020年

# フィリピン人介護職員の時代背景 (インターネット)

- 彼らは生まれた時からインターネットがあるデジタルネイティブ世代です。
- SNSを使いこなして、活発に情報収集と情報発信を行います。
- フィリピンのネットユーザーの97%がフェイスブックを使っています。フェイスブックの利用滞在時間ではフィリピンが世界一です。



# フィリピン人介護職員の本音①

- 経済成長と人口増加を背景に、フィリピンの国自体に勢いがあります。  
日本を始め世界各国から企業が進出し、国内での就職先も増えてきました。
- 家族を支えるために、どうしても海外で働かなくてはならないといった家庭の事情も、昔ほどの切迫感はありません。国内で働いて家族と一緒に過ごす選択肢も十分に魅力的です。

**無理して海外で働かなくてもいい**

## フィリピン人介護士の本音②

- インターネットを使って世界中からの情報にアクセスできる環境にあります。英語が堪能な彼らは日本だけではなく、世界各国の情報もたくさん仕入れています。
- 彼らが介護士として働ける国は、日本以外にもあります。言語障壁の少ない英語圏で、定住や家族を呼び寄せることが可能な国、例えば、カナダなども人気です。

**介護士として働ける国は、世界中にある**

# 雇用主が知っておくべきポイント

- フィリピン国内が経済発展しているため、どうしても海外で働かなくてはならないといった意識は、昔に比べて薄れてきています。さらに、世界の先進国で高齢化が進んでおり、介護士が求められています。フィリピン人介護士が活躍できる職場は世界中にあります。したがって、長期的に人材定着を求めるのであれば、特別な努力が必要になります。
- 今後数年以内に中国だけでなく、タイも高齢化が始まります。

今後フィリピン人介護職員の争奪戦が！？

# 人材定着のための 3 つの取り組み

# 地域を巻き込んだ受入れ体制の構築

- 昨今フィリピンでは日本旅行がブームになるなど、日本は憧れの国の1つになっています。フィリピン人介護職員にとって日本で働くことは魅力的です。この機を逃さないように受入れの準備を進めることが重要です。
- 彼らを労働者としてだけでなく、日本で暮らすひとりの生活者として捉え、ひとりの人間として尊厳を持って接することが重要です。
- 施設とその地域が共に彼らの暮らしをサポートして、日本で生活する魅力を伝え、理解してあげることが人材の定着に繋がります。



# SNSを活用してトラブルや不満を 早期発見

- デジタルネイティブの若いフィリピン人介護士は、SNSを使って頻繁に情報を発信しています。
- 職場でのトラブルや不満、心配事などを、直接上司や職場の日本人の同僚に話すことはありませんが、SNS上で公開することはよくあります。
- 彼らの様子や気持ちを対面のコミュニケーションだけではなく、SNS上の投稿からも読み取って対応することで、トラブルを早期発見し、人材流出を防ぐことができます。



# 長期休暇制度の検討

- フィリピン人は家族をととても大切にします。家族と離れて暮らす彼らにとって年に1回でも長期休暇が取れて、家族との時間を得られることは、日々の仕事に対するモチベーションアップにも繋がります。
- 平常の勤務日数を増やし、その分長期休暇が取れるような柔軟な勤務体制を作ること、人材の定着に大きく貢献します。



# 人材定着のための3つのポイント

- ✓ 地域を巻き込んだ受入れ体制の構築
- ✓ SNSを活用してトラブルや不満を早期発見
- ✓ 長期休暇制度の検討